

平成27年3月16日

各高等学校弓道部顧問 様

広島県弓道連盟
会長 宮脇保博
(公印省略)

平成27年度 国体弓道競技広島県予選会について (連絡)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本連盟の活動について、平素よりご理解とご協力を賜り感謝しております。

平成27年度国民体育大会弓道競技広島県予選会を下記のとおり実施いたします。つきましては、国体予選参加希望者は別紙申込みしていただきますようお願い申し上げます。

なお、平成27年度より、中体連に所属する選手にも6次予選会の出場機会を与えています。ご確認ください。

記

下記の要領で、国体代表選手を決定する。

- (1) 1次から5次予選会の合計の中上位9名に6次予選会の出場資格を与える。
また、中体連所属選手3名以内に、別途選考により6次予選会の出場資格を与える。
- (2) 6次予選会に出場した選手の合計の中上位3名を国体代表選手とする。
- (3) 詳細は①～⑦を参照のこと

回	期 日	大 会	場 所	矢 数
1次	4月11, 12日	県高校弓道選手権大会近的	県立体育館	近的予選4射のみ
2次	4月18日	県高校弓道選手権大会遠的	呉市遠的	遠的8射
3次	4月25, 26日	(各地区弓道大会)	(各地区)	近的8射
4次	6月6, 7日	県総体近的	県立体育館	近的予選4射のみ
5次	6月13日	県総体遠的	呉市遠的	遠的8射
6次	6月28日	最終選考会(上位選手)	呉市遠近	遠近各8射を2回

- ① 1～5次の合計の中数上位9名に、6次予選(最終選考会)の出場資格を与える。
9位タイの選手は、競射を実施しないで全員が出場資格を得るものとする。
1次及び4次予選会については、近的予選4射のみの的中数とする。
3次予選会において、8射より多く競技する地区の記録は、最初の8射を国体記録とする。
- ② 1～5次の32射と最終選考会の32射の合計64射の上位3名を国体代表選手とする。
(最終選考会は、遠的8射+近的8射+遠的8射+近的8射の順に実施する。)
※中体連所属選手については、別方式での的中計算で合計64射を定める。詳細は、国体強化委員会が原案を作成し、6次予選会の監督会議で了承を得る。
- ③ 最終総的中の3位が同中の場合は、近的の4つ矢による競射を実施する。
さらに同中の場合は、近的の射詰競射とする。
- ④ 監督はスポーツ指導者の資格を有する者とする。監督・コーチ(有無を含む)については、高体連委員長および国体選手所属校顧問の協議の上で決定する。なお、国体選手所属校以外の監督・コーチ就任は可能とする。

- ⑤ 体調不良等による選手交代は、監督に全てを一任する。
- ⑥ 最終選考会において、選考会当日の午前6時時点で、警報(台風による警報は1つ、台風以外の場合は2つ)が発表されている場合は自宅待機とする。
午前10時までに警報が解除された場合、時間や矢数の変更等を行い、最終選考会を実施する。
午前10時までに警報が解除されない場合は、最終選考会は中止とする。
- ⑦ 最終選考会が中止となった場合、次の方法で国体選手を決定する。
なお、()内の小さい数字の項目を優先とする。
- (i) 1～5次の合計的中数上位3名を選出する。
 - (ii) (i)が同中の場合、5次予選会の的中上位者を選出する。
 - (iii) (ii)が同中の場合、4次予選会の的中上位者を選出する。
 - (iv) (iii)が同中の場合、2次予選会の的中上位者を選出する。
 - (v) (iv)が同中の場合、1次予選会の的中上位者を選出する。
 - (vi) (v)が同中の場合、5次予選会記録の8本目を競射とみなし、的中者を選出する。
以下、5次予選会記録の7本目、6本目、…、1本目を競射とみなす。
以下、4次予選会の8本目、…、1本目を比較する。
2次予選会の8本目、…、1本目を比較する。
1次予選会の8本目、…、1本目を比較する。
 - (vii) (i)から(vi)までのすべてが同中の場合、抽選にて国体代表選手を決定する。

国体予選参加申込み

- ① 申込締切 平成27年4月11日(土)
県高校弓道選手権大会の近的監督打合会議までとします。
- ② 申込先 別紙申込用紙(同様式であれば可能)に記入し、郵送・FAX・E-mailのいずれかで申込みすること。

(申込用紙は、広島県高体連弓道専門部ホームページからダウンロード可能です。)

なお、直接1次予選会当日の申込みも可能です。

733-0874

広島市西区古江西町30-8-203

奥本康男方

広島県弓道連盟 国体担当事務局

自宅電話 082-273-5299 (FAX兼用)

E-mail y-okumoto@hat.hi-ho.ne.jp

- ③ 注意事項
- ・8月のミニ国体はもちろん9月の本国体まで弓道続ける意志のある選手のみが申込みすること。
 - ・締切以後の申込みは、締切日から申込みまでの試合の的中はカウントしない。